

令和8年度第1回鮫川村地域公共交通協議会会議録

<開催概要>

■日 時：令和8年4月24日（金） 15：00～16：00

■場 所：鮫川村役場 正庁

■出席者：[鮫川村地域公共交通協議会委員] 出席14名
(うち代理出席2名)

[事務局] 4名

産業振興課：我妻課長、中川西課長補佐、水野係長、芳賀

■配布資料：第1回鮫川村地域公共交通協議会 次第等

進行：課長

《 次 第 》

1. 開 会

【事務局】

本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

定刻になりましたので、ただ今より、令和8年度第1回鮫川村地域公共交通協議会を始めさせていただきます。開会に際しまして、本年度、村づくり推進室と農林商工課が統合し産業振興課となり、人事異動により担当職員も変わりましたので紹介いたします。私、本日司会を務めさせていただきます、産業振興課長の我妻と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

※同様に中川西課長補佐、水野係長、芳賀の自己紹介

本日ご出席いただいております委員は、22名中、14名でございます。半数以上のご出席をいただいておりますので、鮫川村地域公共交通協議会設置要綱（以後、設置要綱といたしますが）第9条第2項の規定により、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。

続きまして、会長あいさつですが、設置要綱第7条第2項の規定により「会長は、副村長をもって充てる」とされておりますので、鮫川村地域公共交通協議会会長の副村長、板垣良夫よりご挨拶申し上げます。

2. 会長あいさつ

皆さま、本日はご多忙のところ、令和8年度第1回鮫川村地域公共交通協議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。

本協議会の会長を務めております、鮫川村副村長の板垣でございます。

また、日頃より、本村の地域公共交通の確保・維持に向け、それぞれのお立場から多大なるご理解とご協力を賜っておりますことに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本日は、年度初めの会議であり、新たに委員にご就任いただいた皆さまも

いらっしゃいます。改めて、本協議会の活動にご参画いただきますことに感謝申し上げますとともに、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、本村の公共交通を取り巻く環境は、人口減少や高齢化の進行に加え、利用者数の変化、さらには運行経費の増加など、依然として厳しい状況が続いております。

このような中、限られた財源の中で、いかにして村民の皆さまにとって使いやすく、持続可能な公共交通を確保していくかが、私たちに課せられた大きな課題であります。

本日は、委員の皆さまから忌憚のないご意見を頂戴し、今後のより良い公共交通の在り方につなげてまいりたいと考えております。

どうか円滑な議事運営にご協力賜りますようお願い申し上げ、簡単ではございますが、開会にあたってのあいさつとさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

3. 鮫川村地域公共交通協議会内規について

資料について事務局より説明ののち、協議会副会長1名、監査2名を指名及び選任した。(事務局案を提出し承認された)

副会長：鮫川村商工会長 古舘 勝人氏(再任)

監 査：鮫川たんぼぼの家施設長 江尻 勝巳氏(再任)

社会福祉協議会事務局長 矢吹 智広氏(再任)

4. 議事

報告第1号 令和7年度事業報告について

報告第2号 令和7年度収支決算報告及び監査報告について

監査報告について、監事より報告(社会福祉協議会事務局長 矢吹氏)

報告第3号 令和8年度事業計画及び収支予算について

議案第1号 鮫川村地域公共交通計画に基づく地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請について

報告第1号～第3号について、資料を事務局より説明

議案第1号 鮫川村地域公共交通計画の改定及び地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の申請について

資料を事務局より説明

(地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金及び令和8年度における鮫川村地域公共交通計画に基づく取り組みについて)

【事務局】

経常経費より経常収益を引いた欠損部分（赤字経費）の 1/2 を補助するものである。デマンド交通を持続可能な公共交通にするためにも、昨年度に引き続き地域内フィーダー系統補助金の申請をいたします。申請にあたり、鮫川村地域公共交通計画及び補助金申請に係る計画書について本協議会で承認いただけますようお願いいただければと思います。

【会長】

補助金申請について、ご意見等ありませんか
異議なしのため承認

その他質疑及び意見等

【委員】

令和 7 年度のデマンド交通の実績を教えてください。

【事務局】

年間の支出総額は約 8,000,000 円で、利用実績については、前回協議会に提出させていただいた資料が現時点で把握している正確な数値であり運行日数 245 日、乗車人数延べ 880 人で 1 日あたりの乗車人数は 3.6 人です。

なお、令和 8 年度の利用者数の目標値としては、前年度からの 1 割増を目標とします。

【委員】

鮫川村から村外への移動は 1,500 円とあるが、最寄りの駅（新白河駅）等への移動手段はどうしているのか。

【事務局】

鮫川村からだとは公共交通（福島交通・デマンド交通）を利用し、棚倉町から JR 白棚線を活用する方法が主と思われます。

【委員】

白河市では、タクシー助成券（1/2 助成）配布事業を実施しているため、移動手段の 1 つとして参考にしてみてもどうか。ただ財源は単費のため財政面の負担は大きい。

【事務局】

今後の動向を注視しながら、手段の一つとして参考にしていただければと思います。貴重なご意見ありがとうございます。

5. そ の 他 次回開催日程

令和8年12月を予定しています。

6. 閉 会